



さいじょう

令和4(2022)年8月1日発行

# 市議会だより

第76号

## 特集

みずき議員の  
もっと知りたい！西条市議会！！

みずきの  
ええとこ発見!



## 自然も文化も、まるごと体感

～石鎚 西条 SEA TO SUMMIT 2022 開催～

## 令和4年度補正予算(総額32億137万9千円)を可決

6月  
定例会

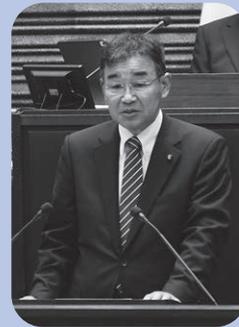
令和4年第3回6月定例会は、6月7日から6月28日まで開催され、議案16件及び報告13件を審議し、最終日には、議案などの採決を行いました。

また、議員14人が議案質疑と一般質問を行いました。発言の要旨は、会派別に2ページから7ページに掲載しています。



西条直民  
クラブ

佐伯利彦 議員



- (議案質疑)
- 1 地域公共交通活性化対策事業について
  - 2 林業新規就業者確保事業について

地域公共交通の活性化で  
空白地解消を!

問

令和4年9月30日にバス路線が廃止される予定である禎瑞オレンジハイツ線の代替交通及び従来から存在する公共交通空白地の解消のため、山間部を除く西条地域で、同年10月1日からデマンド型乗合タクシーの実証運行を開始することになっているが、運行日などどのように決定したのか。

また、利用者の条件はどのようにになっているのか。  
更に、丁寧な周知が利用者の増加につながるかと考えるが、住民周知はどのように行うのか。

答

10月から開始する西条地域デマンド型乗合タクシーの運行日などは、実際に利用が見込まれる、自身で自動車を運転できない高齢者へアンケートを行った上で設定したものである。その回答結果から、運行日は火曜日・金曜日の週2回、時間帯は午

前9時から午後3時までとした。便数及び運賃については、加茂地区及び丹原地域のデマンド型乗合タクシーに合わせ、1日4便、運賃は中学生以上の大人500円、小学生以下の子ども250円としている。

利用対象者については、運行エリア内の居住者であれば、原則誰でも利用可能だが、条件として、一人での乗車が困難な方や未就学児は同伴者が必要である。

住民周知については、広報紙やホームページなどで情報発信するほか、地域での説明会を開催し、より多くのかたに利用していただけるよう努めたい。



丹原地域で運行中のデマンド型乗合タクシー

今後の市内他地域への事業展開については、令和2年度にバス路線見直しフロー図を作成し、路線ごとに廃止や減便などの再編方針を定め、現在、その方針に基づきバス事業者と路線再編についての協議を行っているところであるので、それに合わせ、今回の西条地域デマンド型乗合タクシーの実証運行の結果も踏まえながら検討していきたい。

どうする?!

林業の新規就業者確保

問

既存の林業経営体育成支援事業と、今回の林業新規就業者確保事業について、いずれも林業機械や装備品を導入した際の助成金と理解しているが、どのような違いがあるのか。

また、林業新規就業者確保事業は、異業種からの新規参入を促進し、森林整備の担い手を確保するとともに林業経営体の育成を図るものであるが、今後、本事業が進展することにより、本市の林業はどうなっていくと考えているのか。



林業振興を目指して

**答**

いずれの事業も、チェーンソーや刈払い機などの林業機械や防護服などの装備品の導入を支援する事業であるが、補助対象者が異なっている。既存の事業では、作業請負林業者や自伐林家など個人の小規模事業者を対象としているが、今回の事業では、林業の経験がなく、新たに異業種から林業に参入しようとしているかたを対象としており、建設業者や運送業者更には移住者も対象になると想定している。

新規就業時の負担軽減を行い、林業の担い手確保・育成につなげ、新規就業者が森林経営管理制度による森林整備に携わることで、将来的には本市の林業振興に寄与するものと考えている。

三好和彦議員



- (一般質問)
- 1 子どもの弱視対策について
  - 2 コロナ禍における防災・減災対策について

**子どもの弱視対策は？**

**問**

3歳児健康診査において、視覚スクリーニング検査機器を導入し、視覚検査を行っているが、検査機器導入前後で弱視発見率はどのように変化したのか。

また、弱視の多くは、一般的に3歳頃から治療すれば、95パーセントは改善できると言われているが、検査により要精密検査となった子どもの保護者に対し、どのように対応しているのか。

**答**

令和元年度からの検査機器導入後、弱視と診

断される割合が増加しているため、弱視の早期発見、早期治療開始につながっていると考えている。

また、要精密検査となった場合は、受診券を発行し、満4歳になるまでに眼科受診するよう勧められている。機器導入後、精度の高い検査結果が出るようになったことから受診行動につながり、受診率は大きく向上している。

なお、精密検査の未受診者に対しては、満4歳になる前に電話などにより受診勧奨を行うとともに、受診ができなかった4歳以上の幼児についてもあらためて早期の眼科受診を勧め、未受診者の解消に努めている。



機器を利用した視覚スクリーニング検査

**幼稚園、保育所及び認定こども園の取組は？**

**問**

視覚スクリーニング検査機器による検査に加えて幼稚園、保育所及び認定こども園で視力検査を行うことの重要性、また、弱視の早期治療が子どもの進学や就職にも大きく影響することを理解していただくため、行政から強く呼びかけることで、本市の弱視をゼロにしたいと考えているが、弱視発見率の向上のため、どのような取組をしているのか。

また、遊び感覚で検査できる絵本を活用した新しい視覚検査キットを導入する考えはないのか。

**答**

現在、公立の幼稚園、保育所及び認定こども園では、3歳児クラス以上の園児にランドルト環や動物の絵のカードなどを利用した視力検査を全施設で実施しているが、私立保育所などでは視力検査実施率が全体で25パーセントであったことから、今後、時機を失することなく検査の重要性を周知・啓発し、

現在、公立保育所などでは、園児の年齢に応じた視覚検査キットを活用しているが、新たな視覚検査キットの導入については、今後、更新の際に検討したい。

実施率の向上に努めたい。視力検査の実施においては、さまざまな指標による検査方法がある中で、園児が検査方法を理解するとともに、検査を行う際に興味を持って楽しく取り組めるものを利用することもたいせつであると考えている。

現在、公立保育所などでは、園児の年齢に応じた視覚検査キットを活用しているが、新たな視覚検査キットの導入については、今後、更新の際に検討したい。

なお、私立保育所などでは、各施設の判断で視覚検査キットを購入することになるが、市に相談があれば、貸し出し可能な視覚検査キットを紹介し、対応していきたい。



絵本を活用した検査キット

塩崎 雄 大議員



- (一般質問)
- 1 ICT教育について
  - 2 西条商店街が抱える課題について

小・中学校での

ICT活用状況は？

**問** 本市は全国に先駆け、ICT教育を推進してきましたが、保護者からは、活用がうまくできていないことについて、一部不安の声が上がっている。

**答** 教育現場では、児童・生徒及び教職員が、ICTを効果的に活用できているのか。

**答** 本市の小・中学校には、タブレット端末、電子黒板、指導者用デジタル教科書、校務支援システム、グループウェア、テレワークシステムなどが導入されている。



タブレット端末を使用した授業

児童・生徒においては、電子黒板やタブレット端末を用いることにより、理解度が高まるだけでなく、新たな発見や達成感につながることもあり、満足度は高いものと認識している。

教職員においては、本市の特徴でもあるテレワークシステムにより、業務の負担が軽減したとの意見も多い一方で、実際の授業における機器の活用に負担を感じている職員もいると聞いている。

今後は、現状を正しく把握するため、教育用グループウェアなどの機能を用いて定期的に実態調査を実施し、さまざまな意見を拾い上げ、教育現場に反映したい。

ICT支援員の再配置を！

**問**

本市では、以前、各校を訪問して指導や研修などを行うICT支援員を配置していたが、現在は配置されていない。

**答** 文科科学省は、授業支援、校務支援などにICT支援員が必要不可欠とし、4校に1名の配置を推奨しており、近隣自治体でもICT支援員が配置され、細やかな支援が行われている。市は、再配置の必要性についてどのように認識しているのか。

**答** 本市では、平成27年度から小学校、平成28年度から中学校において、他市に先駆けて電子黒板などの整備を開始したのに合わせ、ICT支援員として、専門の巡回支援員8名を配置していたが、一定の基礎的推進が図られたことから、令和元年度をもって配置を終了している。

令和2年度には、児童・生徒にタブレット端末が配備され、令和3年度に同端末に各種ソフトウェアが導入されたことから、同年度に教職員へ



相談対応するICT教育指導員

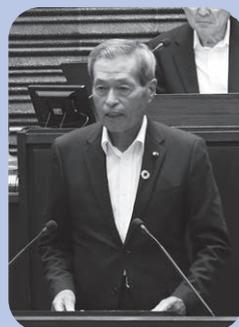
の巡回研修、指導などを行うアプリ指導員1名を配置した。現在は、活用対応やヘルプデスクとして機能するICT教育指導員を学校教育課内に2名配置し、相談対応を行っている。

多くの教職員から再配置の要望があることは把握しており、子どもたちの教育環境を重視する上において、ICT支援員の必要性は一定認識しているところである。

今後は、再配置について検討を進めるとともに、習熟度に応じた教職員研修サポート体制や教職員間での知識や活用方法の情報共有も図りながら、個々のスキルアップを目指し、ICT教育体制の維持向上につなげたい。

自民クラブ

白坂 均 議員



- (一般質問)
- 1 生活習慣病について
  - 2 市内河川の洪水対策について

心不全の発症・重症化の  
予防に向けた取組を！

**問**

心不全をはじめとする重大疾患の多くは、悪化の要因に高血圧、糖尿病、脂質異常症といった生活習慣病が挙げられる。過度な飲酒や塩分摂取を避ける、肥満を解消する、適度な運動を行うなど、生活習慣の見直しが必要であると考えますが、心不全の発症や重症化を予防するために、どのようなことに取り組んでいるのか。



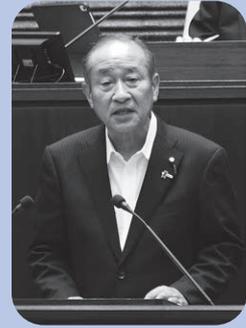
栄養講座の様子

**答** 心不全発症予防の取組として、食生活に関しては、管理栄養士などが主催する栄養講座や食生活改善推進員による学習会を実施し、運動に関しては、日々の歩数などでポイントが貯まる「わくわく健康ポイント事業」などを実施している。

重症化予防の取組としては、国民健康保険の被保険者を対象に特定健康診査を行い、特定保健指導対象者と診断されたかたに、保健師や管理栄養士による特定保健指導を実施している。

心不全のリスクを回避するためには、生活習慣の改善と特定健康診査の定期的な受診が重要であり、今後も県と連携し、各種事業を進めることで、心不全による死亡率減少を目指し取り組んでいきたい。

井上 浩二 議員



- (二 般 質 問)
- 1 指定ごみ袋の有料化について
  - 2 新型コロナウイルス感染症について

指定ごみ袋の有料化

検討状況は？

問

安定的なごみ処理の継続のため、指定ごみ袋の有料化を検討していると聞き及んでいる。持続可能なごみ減量を推進する上で、ごみ袋は市民が使用しやすい形状にするべきであるが、どのように考えているのか。

また、指定ごみ袋の価格設定やごみ袋有料化導入による収支見込み額についてはどのように検討しているのか。

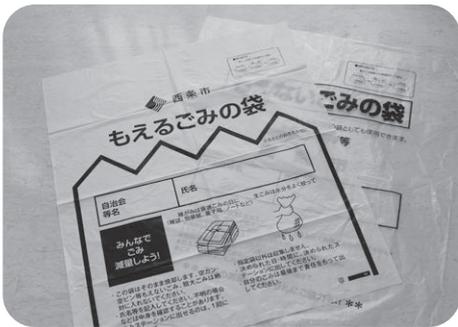
更に、配付済み指定ごみ袋の使用期限などは、どのように取り扱う考えなのか。

答

指定ごみ袋の形状については、以前より、ごみ袋の口を縛ったり持ち運んだりしやすいような、耳付きへの変更要望が市民からもあることから、利便性や費用対効果を踏まえて検討したい。

指定ごみ袋の料金は現在検討中であり、収支見込みは処理手数料が決まっていないため算出していない。なお、有料化による収入は、ごみ減量化・資源化などを目的としたごみ処理関係事業及び老朽化したごみ処理施設の更新費用として活用したい。

また、配付済み指定ごみ袋の取り扱いについては、市民が混乱することなく円滑な移行が図られるよう、適切に判断していきたい。



現在使用している指定ごみ袋

今井 廣一 議員



- (二 般 質 問)
- 1 各種団体への補助金交付について

各種団体に対する補助金交付の見直しを！

問

市は、行財政改革の観点からさまざまな取組の見直しを行っており、そのことが市民生活にも少なからず影響を及ぼしている。昨今の財政状況などを考慮すると、補助金の見直しを行い、誰もが納得できる適正な交付に努める必要性があると思うが、どのように考えているのか。

また、収益性のある活動を行っている団体への交付や多額の補助金を交付している事例が見受けられる。適正な交付のため、補助金交付に係る事務手続きをどのように行っているのか。

答

補助金は、行政課題を解決する有効な手段であるが、一方で補助の長期化による既得権化といった課題もある。より活動に見合った補助金額とするためには、団体などへの運営費補助から事業費補助への転換も必要であると考えている。

補助金の交付手続きに関しては、必要な手続きについて規則などを定め、その要件に適合するものかどうかを審査し、適正に交付している。

補助金は、公益上必要がある場合に交付するものであり、その原資が税金であることに鑑み、今後の厳しい財政状況を踏まえ、限りある財源を有効活用していきたい。



森川 亜紀 議員



(一般質問)  
1 小・中学校における保護者向け配付資料のペーパーレス化について

マチコミメール  
その活用状況は？

**問** 令和3年4月から、学校と保護者の連絡ツールとして、新たにマチコミメールが導入され、学校からのプリント配付や電話連絡など、従来のアナログ方法による連絡の不便さを解消するために使用されている。

マチコミメールのさまざまな機能を活用することで、学校の用紙代や印刷代のコスト削減、教職員の業務効率化につながるとともに、災害時などに子どもを引き渡す際の保護者確認などにも利用できる。と考えるが、今後、マチコミ

メールの活用についてどのように考えているのか。

**答**

各校では、ホームページで情報発信を行うほか、令和3年4月1日から、学校の実情を踏まえた上でマチコミメールを活用し、保護者に文書を配付している。用途としては、保護者からの欠席連絡、学校からの保護者用プリントの添付、学校評価アンケート、健康観察、各学級内の連絡、部活動内の連絡などである。

マチコミメールは、保護者への周知手段として、現状では必要じゅうぶんな機能を備えていると考えており、今後このメールの活用を徹底していきたい。



スマホで学校からの連絡を受信

西条みらい  
クラブ

真鍋 顕 伸 議員



(一般質問)  
1 ふるさと納税について  
2 ふるさと納税を活用したNPO法人等への指定寄附について  
3 企業版ふるさと納税について  
4 合併協定書について

どう考える？

合併20年の総括

**問**

令和6年度に合併20年を迎えるに当たり、合併協定書の個々の協議項目について、合併以降の本市を取り巻く状況の変化も含め、総括を実施すべきではないかと思うが、どのように認識しているのか。

**答**

平成26年に合併後10年の検証として、人口や財政状況の推移、合併の効果、住民サービス統一の状況、市民アンケート結果の分析、残された課題と今後の対応などを取りまとめている。

それ以降は、総合計画の策定や見直しのタイミングでの時々の課題を分析し、必要な対応を盛り込んでいるため、合併20年を迎えるに当たり、あらためて合併協定書の個々の項目についての総括を行う考えはないが、今後も、適正な成果検証などを実施し、持続可能な西条市の実現に向け取組を進めていきたい。

起業型地域おこし協力隊  
その成果は？

**問**

本年4月に事業終了となるが、年間売り上げが300万円未満の隊員が半数以上を占めるが、支援方法は適切だったのか。また、費用対効果をどう考えているのか。

**答**

令和3年度の隊員売り上げ総額は、コロナ禍の影響を受け目標の1億円を下回ったが、起業家の創意工夫に加え、市・サイクス・金融機関による支援制度の創設や相談対応により、前年度比で約36パーセント増となった。費用対効果としては、特別交付税約1億4千700万円の措置により、本事業の市の財政負担が約2千600万円となる一方、隊員の定任率、起業実現率が全国でも突出しており、空き店舗への活動拠点整備など、地域資源の有効活用、地域課題の解決に向けた活動が創出されている。更に、本事業がメディアで多数紹介され、本市の認知度が向上するなど、新たな地域活力につながったものと認識している。

佐々木 充 議員



(一般質問)  
1 ローカルベンチャー誘致・育成事業終了後の状況について

公明党  
西条市議員団

高橋 淑子 議員



- (一般質問)
- 1 子育て世代包括支援センター運営事業について
  - 2 ヘルプマークについて

ヘルプマークの正しい知識と理解を！

**問** 外見では分かりにくい障害のあるかたなどが周囲に配慮を求めるヘルプマークを周知するため、どのように取り組んでいくのか。

**答** 普及啓発のためホームページへ掲載するほか、市役所窓口や市内医療機関で啓発ちらしの掲示を行っているが、教育現場への周知・啓発の強化も図っていききたい。

城戸 力 議員



- (議案質疑)
- 1 脱炭素社会推進事業について
  - (一般質問)
  - 1 生活困窮者に対する就労支援について
  - 2 DXの推進について

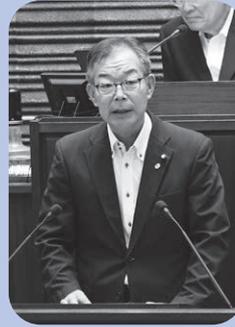
書かない窓口の実現を！

**問** 来庁者に対する申請手続きサービス向上と負担軽減を目指し、書かない窓口を設置する考えはないのか。

**答** DXを活用した市民サービスの一つとして、書かない窓口の実現は有効であると認識している。現在、西条市DX窓口改革プロジェクトチームで窓口業務の課題分析と改善策の検討をしており、その結果を踏まえながら実現に向け調査・研究したい。

会派に  
属さない議員

高橋 章 哲 議員



- (一般質問)
- 1 一般財団法人えひめ西条つながり基金との関わりについて

コミュニティ財団を支援する方法は？

**問** 四国初のコミュニティ財団として誕生した一般財団法人えひめ西条つながり基金に対して、どのような支援をしていくのか。

**答** 同法人の活動は、協働のまちづくりの推進につながることから、認知を広めるための情報発信をはじめ、市民や市内団体と同法人の連携に向けた支援、地域課題解決のための活動への協力を続けていきたい。

決のための活動への協力を続けていきたい。

市川 みどり 議員



- (一般質問)
- 1 地下水保全と森林整備について

子どもたちに啓発を！

森林整備の重要性

**問** 大切な水を守るための森林整備の重要性を、子どもたちへどう啓発・教育していくのか。

**答** 地下水保全を核としたシビックプライドの醸成と、森林へ興味を持つことによる将来的な林業の担い手確保を目指し、現在、一部の小学校で実施している森林が有する多面的機能などについての出前授業を、市内全小学校へ展開することで、継続し

た啓発・教育を行いたい。

越智 由美子 議員



- (議案質疑)
- 1 西条市国民健康保険条例の一部を改正する条例について
  - (一般質問)
  - 1 総合支所の業務縮小について

市民の不安や不便を解消する取組を！

**問** 総合支所の業務縮小に伴い市民サービスが低下する懸念はないのか。

**答** 既に住民票などのコンビニ交付や市税などのコンビニ・スマホ収納を導入しているが、デジタル化による利便性の更なる向上を検討することで、市民の不安、不便が生じないように努めたい。

# 総務委員会・分科会での主なQ&A

6/17開催

付託議案 4件  
請願 1件

「SDGs×DX」による  
持続可能なまち西条推進事業

**Q** 広くポイント消費を促すための工夫は？

**A** LOVE SAIJOポイント取り扱い店舗の拡充を図っており、現在、デジタル石鎚藩札を取り扱った395店舗のうち152店舗が加入手続きを進めている。今後は、飲食店などへ働きかけるなど、消費者のニーズに応え、さまざまな店舗で利用可能となるよう、引き続き取り扱い店舗の拡充に取り組むこととしている。



ポイントが使えるお店の目印

**Q** SDGsの目標達成につながる活動の現状は？

**A** 地域消費につなげるため、8月以降に30パーセントのポイント還元を実施するほか、SDGsの目標12「つくる責任、つかう責任」の食品ロス対策を推進するため、おいしい食べ盛り運動推進店でのポイント還元キャンペーンの実施、更に、生ごみ処理機の購入に対するポイントの交付を予定している。

また、SDGsを広く市民に浸透させることを目的としたSDGsカードゲームを7月から開催する予定としており、今後は、市の広報紙やフリーペーパーなどで活動を周知し、SDGsの取組を推進していきたい。

## ポイント！

カードゲームでは、ゲームの楽しさに熱中しながらSDGsの本質を体験・学習することができます！

# 福祉文教委員会・分科会での主なQ&A

6/16開催

付託議案 9件

西条市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例について

**Q** 条例改正の必要性は？

**A** 国でマイナンバーカードを利用した医療扶助のオンライン資格申請が令和5年4月から開始される予定であり、本市においても同事務への対応が必要であるため条例改正を行う。

## 子宮頸がん予防ワクチン 任意接種費補助金

**Q** 予算の積算根拠は？

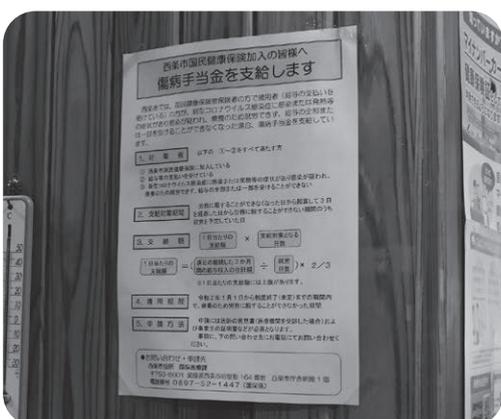
**A** 必要とされる3回の接種のうち、1回か2回しか接種していない55人を対象としており、自費で任意接種した可能性のある62回分を見込んでいる。

## 傷病手当金

**Q** 予算の積算根拠は？

**A** 新型コロナウイルス感染症のオミクロン株による感染者数の増加に伴い、傷病手当金の申請者が増加し、今後増加が見込まれている。

積算は、過去の実績から1件当たりの支給額5万円、1か月当たりの申請件数5件、年間で60件の申請があると見込まれることから、予算総額を30万円とした。



窓口に掲示されている傷病手当金の案内ポスター



消防団の消防ポンプ自動車

**Q** 車両の更新基準と、廃車となった場合の活用方法は？

**A** 救急車は、15年経過若しくは走行距離20万キロメートル以上、消防団の消防ポンプ自動車は、23年経過したものを順次更新している。

緊急車両を廃車する際には、契約業者に対し、永久抹消するように依頼しているが、過去には市内事業所や外国などへ寄贈した経緯があることから、今後は、寄贈も検討したい。

### 消防車両等整備事業

## 環境消防委員会・分科会での主なQ&A

6/16開催

付託議案 1件

### 地域公共交通活性化対策事業

**Q** 運行経路の設定方法は？

**A** 西条地域デマンド型乗合タクシーは、1日4便運行するものであり、利用者からの事前予約に基づき、予約時間や乗り合わせる利用者の自宅及び目的地などを考慮し、最も効率のよいルートを事業者が決定する。そのため、利用状況によっては予約した乗車時間から最大30分程度の遅れが生じることがある。

### 遅れる場合の通知方法は？

**A** 今回のシステムでは、事前連絡することができないことから、予約した乗車時間から予約した乗車場所まで待機していただくことになる。

### 要望

10月1日の運行開始に当たっては、利用者に誤解が生じないよう具体的な利用方法の周知に取り組んでほしい！

## 産業建設委員会・分科会での主なQ&A

6/17開催

付託議案 3件

### 新規就農者確保事業

**Q** 本年度からの変更点は？

**A** 令和4年度からの変更点として、新規就農者への資金支援の期間が、5年から3年に短縮された。

また、経営発展支援として、機械などの購入費用に対して、最大500万円の助成が受けられる制度を新設している。

### 3年間の資金支援終了後の支援体制は？

**A** 新規就農者は、青年等就農計画において、自らの農業経営に関する目標を定めており、市としても目標達成に向けてサポートしていくこととしている。

3年間の資金支援が終了した新規就農者を支援するために、市や県が実施する単独事業もあることから、これらの事業を活用しながら、営農に取り組んでいただきたい。

### 西条市畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律施行条例について

**Q** 条例の内容は？

**A** 特定用途制限地域内における畜舎などの建築などについては、市の条例において用途制限を受けていたが、当該制限を受けない「畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律」による認定畜舎などの建築などが可能となったことに伴い、当該認定畜舎などについて、現行と同様の制限を加えるものである。



# 6月定例会における議案などの審議結果

議案等番号	件名	議決結果	議案等番号	件名	議決結果	
議案第39号	西条市税条例の一部を改正する条例の専決処分について	承認	議案第54号	西条市保健センター設置及び管理条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第40号	令和4年度西条市一般会計補正予算(第1回)について	原案可決	報告第3号	令和3年度西条市繰越明許費繰越計算書について	報告聴取	
議案第41号	令和4年度西条市一般会計補正予算(第2回)について		報告第4号	令和3年度西条市水道事業会計予算繰越計算書について		
議案第42号	令和4年度西条市国民健康保険特別会計補正予算(第1回)について		報告第5号	令和3年度西条市病院事業会計予算繰越計算書について		
議案第43号	令和4年度西条市介護保険特別会計補正予算(第1回)について		報告第6号	令和3年度西条市公共下水道事業会計継続費繰越計算書について		
議案第44号	工事請負契約の締結について		報告第7号	令和3年度西条市公共下水道事業会計予算繰越計算書について		
議案第45号	西条市東予総合福祉センター、西条市丹原福祉センター及び西条市小松地域福祉センターの指定管理者の指定の施設の変更について		報告第8号	西条市土地開発公社の経営状況について		
議案第46号	土地改良事業の施行について		報告第9号	公益財団法人佐伯記念育英会の経営状況について		
議案第47号	特定事業契約の一部変更について		報告第10号	株式会社西条産業情報支援センターの経営状況について		
議案第48号	西条市畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律施行条例について		報告第11号	株式会社ソラヤマいしづちの経営状況について		
議案第49号	西条市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について		報告第12号	権利の放棄について		
議案第50号	西条市税条例等の一部を改正する条例について		報告第13号	権利の放棄について		
議案第51号	西条市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について		報告第14号	権利の放棄について		
議案第52号	西条市公共施設使用料減免条例の一部を改正する条例について		報告第15号	権利の放棄について		
議案第53号	西条市福祉センター設置及び管理条例の一部を改正する条例について		請願第17号	インボイス制度の実施中止を求める請願		不採択
				議員の派遣の承認について		承認

## 議員別議案等賛否一覧表

上表は議案などの審議結果ですが、下表には賛否が分かれた議案などの状況を掲載しています。(現議員数28名)

議員名	議案等 (賛成：反対)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
		越智由美子	市川みどり	高橋淑子	森川亜紀	今井廣一	堀崎雄大	三好和彦	高橋保充	佐々木充伸	真鍋力	城戸二均	井上均	白坂均	西坂均	藤井武彦	川又由美恵	佐伯利彦	坪井剛	高橋章哲	伊藤新平	御庄秀樹	越智俊幸	藤田節雄	行元博	一色輝雄	楠學	武田功	伊藤孝司
議案第41号	26：1	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	25：2	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第51号	26：1	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第17号	3：24	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	

※ ○：議案などに対して賛成 ×：議案などに対して反対

※ 武田 功議員は、議長職のため決表に加わっていません。



**議員の表彰**

全国市議会議長会より、次の議員が表彰されました。

○市議会議員在職35年以上  
伊藤 孝司 議員

○市議会議員在職15年以上  
西坂 壽 議員  
坪井 剛 議員

また、同会において、都市問題に関する特別委員会委員であった次の議員に感謝状が伝達されました。

○全国市議会議長会  
都市問題に関する特別委員会委員  
行元 博 議員

パソコンやスマートフォンなどで、いつでも市議会だよりをご覧ください！

「マチイロ」

広報紙が読める無料アプリ



「Ehime ebooks」

県内の電子書籍閲覧サイト



四国市議会議長会より、次の議員が表彰されました。

○正副議長在職3年以上  
行元 博 議員

愛媛県市議会議長会より、前正副議長に感謝状が伝達されました。

○議長長の部  
行元 博 議員

○副議長長の部  
藤井 武彦 議員



## みずき議員の もっと知りたい! 西条市議会!!

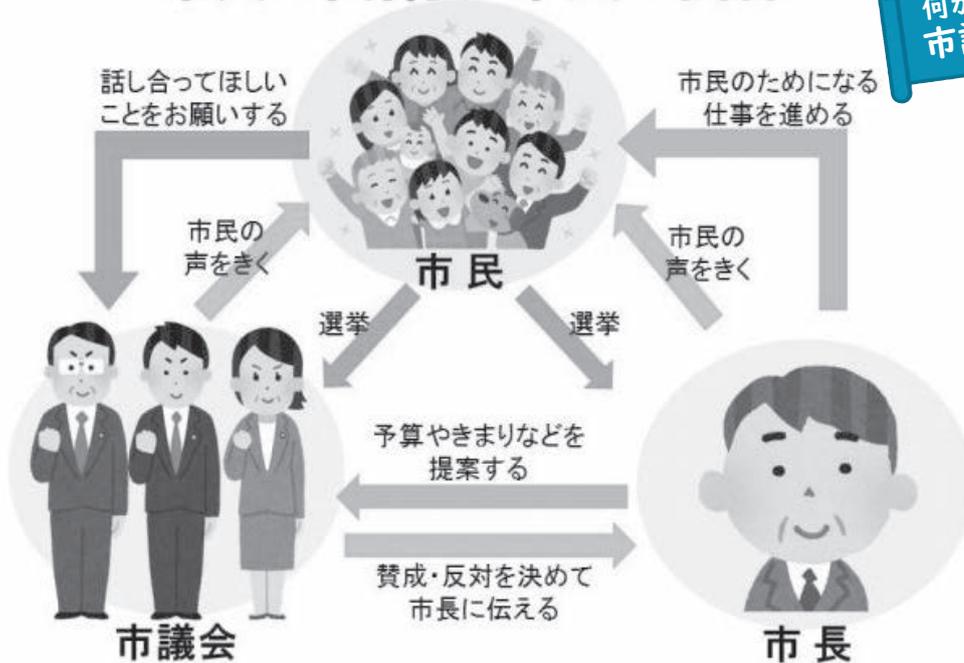
皆、元気だった～？ 議会だより愛読者からひそかな人気(?)の不定期掲載「みずきのコーナー」、久々でちょっと緊張するけど、やるよ～!

市議会のことをもっと知ってほしいけん、市議会のあれこれを紹介しよわい。

皆、“市議会”と“市長”の違いって知っとる？ 市民の皆から選挙で選ばれるのは同じやけど、その役割はそれぞれ違っとるんよ。

今回は「市民・市議会・市長の関係性と市議会の役割」について、説明しよわいの～!

### 市民・市議会・市長の関係



#### 何が違うん? 市議会の仕事・市長の仕事

- ◎市議会は、市民の代表として選ばれた議員が集まって話し合いをするんよ。
- ◎市長は、市の仕事を行う執行機関の責任者なんよ。
- ◎市長は、市の仕事の進め方やお金の使い方などを市議会に議案として提案して、話し合ってもらんよ。
- ◎市議会は、市長から提案された議案について、詳しく調べて話し合って、賛成か反対かを決めるんよ。



#### 議会豆知識 ～他にはないん？ 市議会の仕事！～

- ◎市が使ったお金(予算)が正しく使われたか、市の仕事が市民のために正しく行われているか、市民からの意見や要望が市のために必要ななどを調べよるんよ。
- ◎地域をよくするために、国や愛媛県に対して、意見書を提出したりしよんよ。

最後まで読んでくれてありがとう～!  
知ってるようで実はよく知らない市議会の謎を解明して、市議会を身近に感じてくれたら、みずき嬉しいわあ～!



# 令和4年度 西条市議会報告会を開催します

市議会では、議会のしくみや審議内容を報告し、市民の皆さんと意見交換を行うため、これまで議会報告会を開催してきました。

昨年度同様、今年度も映像配信により行います。

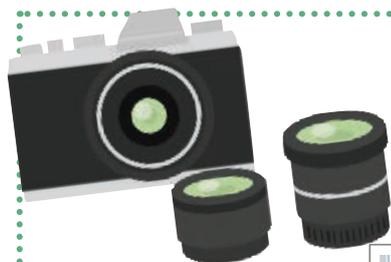
令和4年12月頃の配信を予定していますので、皆さんぜひご視聴ください。

※配信日時が決まりましたら、市議会ホームページや市議会フェイスブックなどでお知らせします。

募集

中

## 市議会だより 表紙写真



あなたが撮影した写真で、市議会だよりの表紙を飾ってみませんか？  
まちの魅力を再発見できる写真をどしどしご応募ください！

西条市議会



編集後記

萩月、秋風月、月見月、木染月、雁来月、草津月、燕去月。これ、全て8月の別名だそうです。

旧暦を使用していた頃の名残もあるのでしたが、別名を眺めると、さらっとした秋の涼風を感じます。

今年、8月7日が立秋、秋の気配が立ち始める日となつていきます。「秋来ぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞおどろかれぬる」と古今和歌集に詠まれたように、暑い中でも秋の気配をふと感じることがあるかも知れませんね。

### 市議会だより編集委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 一色 輝  |
| 副委員長 | 坪井 剛雄 |
| 委員   | 高橋 力  |
| 伊藤 章 | 伊藤 幸樹 |
| 御庄 新 | 藤原 平  |
| 越智 秀 | 藤原 幸  |
| 藤智 節 | 藤原 幸  |
| 行元 節 | 藤原 幸  |
| 〃    | 〃     |
| 〃    | 〃     |
| 〃    | 〃     |
| 〃    | 〃     |
| 〃    | 〃     |
| 〃    | 〃     |

